

平成 24 年度 札幌市医療安全推進協議会 第 1 回基幹会議 議事録(発言要旨)

項目	発言者	発言趣旨
報告事項(1) 平成 23 年度札幌市医療安全推進協議会基幹会議の実施報告について	事務局 (深澤職員)	<p>ア 第 1 回基幹会議</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年度の「専門会議の結果」、「市民相談結果の概要」及び「医療安全講習会の実施結果」について報告し、了承を得た。 「平成 23 年度の本協議会の運営方針」、「医療安全講習会」及び「院内感染対策セミナー」等の実施予定について説明し、了承を得た。 <p>イ 第 2 回基幹会議</p> <ul style="list-style-type: none"> 国の「新型インフルエンザ対策」中、検討課題である在宅療養患者への FAX による抗インフルエンザ薬等の処方せんの発行について、処方せんの改ざんが多数行われ、抗インフルエンザ薬が不足することが懸念されるとの意見があった。 院内感染対策に関する最近の動向として、国通知における大規模病院における感染制御チームの設置と、アウトブレイク発生時の医療機関の連携について説明し、先行している東北感染症危機管理ネットワークについて紹介した。このようなネットワーク構築の際に、大変なのは事務局業務であるという意見、市内では、大病院でも他病院をどのように支援していくか、まだ準備段階であるとの情報提供があった。 <p>ウ 第 3 回基幹会議</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全相談窓口に寄せられた「医療事故等」・「調剤過誤」関連の相談事例を紹介した。委員から市医師会の医事紛争処理委員会の制度や思い込みによる医療事故の再発防止策に関する具体的な事例の紹介があった。また、薬局の事例では、似ている薬、薬の種類が増加、更にジェネリックの導入により、調剤過誤防止には、入念な鑑査が必要との意見があった。
報告事項(2) 平成 23 年度医療安全推進事業について	事務局 (深澤職員)	ア 平成 23 年度市民相談結果の概要について説明。 (資料 2)
	南須原委員	・ 薬事法等という相談の中には、どのような内容の相談があるのか。
	事務局 (永井係長)	・ 無許可・無届販売が H22 年度 1 件から 23 年度は 7 件と大きく増加した。また、麻薬・毒劇薬の管理等についての管理者の義務違反、無許可製造・輸入販売、無承認・無許可医薬品の販売等がある。
	南須原委員	・ 健康食品とかは、ここに入ってこないのか。
	事務局 (永井係長)	・ 健康食品については、広告・表示等の相談が多く、薬事法等は別に計上している。医薬品の広告・表示も多く、これはその他に含まれているが、15 件だった。
苗代委員	・ 相談方法の内訳とか相談者の性別、1 回の相談時間	

		等の詳細は、どこかに掲載されているのか。
事務局 (永井係長)		・ 詳細については、これから集計予定である。毎年度、HPに掲載している。
山田委員		・ 歯科だけでなく、医務の方も相談内容を診療科で区別したデータはあるのか。
事務局 (永井係長)		・ そのような集計は、まだ行ったことはない。はっきり診療科がわからない相談というのも多く、正確なデータになるかはわからないが、集計をしてみたいと思う。
山田委員		・ 歯科では、例年、治療費に関することが非常に多くなっている。歯科医師会での電話相談の集計結果では、10%未満である。対応者の話を聞くと、最初は治療費の話をするが、結局は治療がうまくいってない話になることが多いようだが、保健所の窓口ではどうか。
事務局 (永井係長)		・ 治療費に関しては、例えば、自分が思っていたようには治らない、不快感が残る、入れ歯が合っていない等で、治療がちゃんとできてないからお金を払いたくないという相談や治療費が最初に思っていたより意外に高いので治療を途中でやめて返金を希望したいといった相談が寄せられている。
松家会長		・ H22年度の相談件数が、少し下がった理由というのは何か原因があるのか。
事務局 (永井係長)		・ それについては、調べてみたが、下がった原因は特定できなかった。
松家会長		・ 相談内容の項目について、医療機関の規模によって違いがあるのか。例えば、診療内容だと大きな病院とか、従事者の対応がどこで一番多いとかいったような集計がとれば、今後、そのような規模の施設に対して、注意できるのではないかと思う。
事務局 (永井係長)		・ 現在は、病院・一般診療所・歯科診療所としか区分していない。病院の病床数で区分して集計したことはないので、病院名が判明している相談については、集計可能なので、今後検討していきたい。
事務局 (深澤職員)		イ 医療安全講習会の実施報告について説明(資料3) ・ 3回実施し、そのうち1回は、初めて外会場を利用して行った。 ウ 院内感染対策セミナーの実施報告について説明(資料4) ・ 感染管理認定看護師を講師に招き、病院看護師を対象に、参加型のセミナーを新たに実施した。 エ 市民対象の講座の実施報告について説明(資料5) ・ 「医療安全講座」を実施するとともに、「出前講座～賢い患者になりましょう」を開始した。

	<p>オ 札幌市医療安全相談窓口の広報活動報告について説明（資料 6）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H22 年度版医療安全支援センター事業概要を発行。 ・リーフレット「医療安全相談窓口のご案内」の改訂版を発行。 ・よくある市民相談 Q & A 等、ホームページの市民向けの内容を充実させた。
苗代委員	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全講習会の参加者の位置づけ、案内の方法、参加率の目標や年々どのように変化しているのかを知りたい。
事務局 (永井係長)	<ul style="list-style-type: none"> ・一般診療所対象の場合は、全一般診療所へ案内文を送付というように、対象となる施設、全部に案内文を送付している。 <p>施設の参加率は、例年、歯科が参加率が高い傾向がある。参加率の推移については、ほぼ横ばいで変わっていない。この理由の一つとして、主に当施設の講堂を会場として使用しており、入れる数が最大、約 480 名のため、1 施設 1 名でお願いしているという会場の都合がある。昨年度、初めて全医療機関を対象に、外会場で 1 回実施したが、定員 650 名の会場で、満杯状態だった。</p>
松家会長	<ul style="list-style-type: none"> ・3 回目（全医療機関対象）はテーマも良かった。皆さん、一番興味のあるところなので。
事務局 (永井係長)	<ul style="list-style-type: none"> ・やはり、今、同一人物から、繰り返し、同じ苦情を申立てられるとか、かなり困っている病院も多く、関心が高い。特に病院は参加率が 50% を超えた。
松家会長	<ul style="list-style-type: none"> ・市民対象の医療安全講座の参加者が、ちょっと少なくて寂しかった感じがするが。
南須原委員	<ul style="list-style-type: none"> ・確かに少なかった。お年寄りが多いのは予想どおりだったが。
事務局 (永井係長)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果、内容は大変好評だった。実施時期が 1 月なので広報さっぽろ 12 月号に載せたが、思っていたより反応が少なかった。それと高齢者の方は、冬期間、来るのは難しいという状況もあり、予想より少なかった。また、周知方法も高齢者層が多いのであれば、地域包括支援センターを通じて周知した方が良いという意見も頂いた。
松家会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それに対して好評だったのが、出前講座ということだが。
事務局 (永井係長)	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ連合会やシルバー人材センター等は、100 名前後の参加者があった。
松家会長	<ul style="list-style-type: none"> ・こまめにやった方が来やすいのだろうか。

	事務局 (永井係長)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が多いということで、日頃、通っている施設とか、地域で活動しているグループでの申込が多かった。効率性を考えると、例えば広報さっぽろに1回載せて集めるより、このような団体での申込の方が多かったりということで、高齢者層には、こちらから地域に出向いてお話しの方が効果的なのかなと思った。
	中山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包支援センターへ勤めていたことがあるが、こちらでも、町内会や老人クラブへ定期的に足を運んでいるので、御案内頂けると、効果的ではないかと思う。あと、市の委託先の介護予防センター等は、もっと細かな部分まで御案内できるのではないかと思う。
	事務局 (飯田部長)	<ul style="list-style-type: none"> ・やはり待って、来てもらうよりも、それぞれの所にこちらから出向いて、そこで細かく説明する方が効果があるのではないかと思う。元々、市の出前講座はそういう性格であるし、昨年度の実績を見ると、こういう講座ができますよと言うと、大分リクエストがあったという結果だと思う。
	松家会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、人手がたくさんいるだろうが、保健所の、マンパワーは大丈夫なのか。
	事務局 (永井係長)	<ul style="list-style-type: none"> ・市の出前講座は、基本的に課長職が出向くが、件数が多いので、係長職と分担して行っている。
議事(1) 平成24年度札幌市医療安全推進協議会基幹会議の運営方針について	事務局 (永井係長)	<p>○平成24年度札幌市医療安全推進協議会の運営方針について説明(資料7)</p> <p>1 基幹会議の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度は2回実施し、主に市民向け「(仮称)さっぽろ医療ガイド」の作成について協議したい。 <p>2 電子メール・FAXによる情報・意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「電子メール・FAXリスト」を作成し、情報・意見交換を行いたい。本リストは、当協議会と事務局の間で公開するものであり、外部には公開しないので、御協力いただきたい。
議事(2) 「さっぽろ医療計画」について	事務局 (飯田部長)	<p>○「さっぽろ医療計画」について、概要版に基づいて説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標1「安心を支える医療システムの構築」の、施策と取組内容例の中で、③「医療安全対策の推進」の取組として、医療機関・薬事関係施設の立入検査の充実、医療安全相談窓口の適切な運営を挙げている。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標 2「地域と結びつけた医療の強化」の中で、①かかりつけ医等の普及促進と地域医療機関の連携を盛り込んでいる。 ・ 目標 3「市民の健康力・予防力の向上」の中で、②医療に関する相談機能の充実と広報の強化の取組の一つとして、「(仮称)さっぽろ医療ガイド」の作成を位置付けしている。
議事(3) 「(仮称)さっぽろ医療ガイド」の作成について	事務局 (永井係長)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民向け「(仮称)さっぽろ医療ガイド」の作成について説明(資料8) ・ 市民が身近な地域で安全・安心な医療サービスを選択し、主体的に医療に参加できるよう、医療に関する基礎知識について、わかりやすく情報提供する冊子とする。 ・ 主に、「市民啓発」及び「医療機関情報」から成る2部構成を考えている。 ・ 特に、資料に示しているような骨格案作成のためのキーワードや日頃、患者から出される質問や意見、知っておいていただきたい基礎知識等について情報提供頂きたい。 ・ 今後のスケジュールとしては、今日の会議での意見等を踏まえ、事務局で骨格案を作成し、それについて、「電子メール・FAX リスト」等を活用して委員の方々と意見・情報交換を行いたい。第2回基幹会議では、構成案について協議いただきたいと考えている。
	松家会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関情報は、大体できているので、既存のものから取込んでいけばよいと思うが、やはり市民啓発をいかに持っていくかだと思う。 ・ 病院に行くときはメモ書いていきなさいとかは言っているが、その内容なんかも、もう少し詳しくなればよいと思う。また、医療スタッフとのコミュニケーションなど。
	山田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科でも、もうちょっと担当の診療所で聞いてもらえれば、ここ(歯科医師会)まで電話してこなくてもいいというのが、非常に多い。あの先生には聞きづらいとか、歯科医師の問題も確かにあると思うが。患者にとって、聞きやすいドクターはどこにいるとか、逆に知りたい。
	事務局 (永井係長)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関情報載せることの一つの目的に、かかりつけ医の推進がある。身近な地域の中で、普段からうまく医師等とコミュニケーションを取りつつ、病気の予防や病気にかかった時の受診とか、そのようなことを地域の中から推進していければよいと思っている。

山田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ そういう意味では、やはりキーワードの中にある医療スタッフとのコミュニケーションあたりを重要視して頂きたい。治療する側の立場でも考えていきたいが、患者側としても、どういう形でやれば話しやすいとかいった点も煮詰めていければよい。
事務局 (飯田部長)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関連で情報提供だが、医療計画の本書に、かかりつけ医についての市民アンケート結果を載せている。現在、かかりつけ医を持っているという人が5割だが、持っていない人の中でも7割の人は持ちたいという意向があるという結果で、潜在的なニーズもあるということがわかった。今日、提案した医療ガイドも、これを利用して、患者の方から医師等へ色々聞けるようなきっかけになってもらえればと思う。
松家会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ キーワード中、自分で防ぐ医療事故というのはどういう意味か。
事務局 (永井係長)	<ul style="list-style-type: none"> ・ これは、出前講座の中で話しているのだが、一例としては、名前を呼ばれた時に、必ずフルネームで自分のことかよく確認しようとか、診察後の処置や検査が、医師から聞いたとおりのものであるかなど、自分で確認できることはきちんと確認しようといったようなことである。
中田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬の関係だと、ジェネリックを使うことが非常に多くなって、病院で処方した薬が薬局でジェネリックに変わったりして、患者が実際に、今何を飲んでいるのか、また入院された時にわからないことが結構ある。また複数の医療機関を受診して、患者が重複して薬を持っているようなことも入院時に見受けられる。このようなことを回避するためにお薬手帳があるが、まだ普及率が低いので、もう少し活用してほしいので、PRした方がよい。
苗代委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本医療安全調査機構という機関の認知度が低いので、できれば掲載してほしい。ハッと何か身に起きた時にガイドを見て、このような相談窓口があるとか、病院には医療安全管理室があるということ、多分、高齢者の方だとわからない方もいる。そのような情報も必要なのではと感じている。
事務局 (永井係長)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例えば、日本医療安全調査機構では、医師の診断書等がなくても、患者側から直接、例えば死因について納得がいかないので調査したいといった要望にもお応えはできるのか。

	苗代委員	<ul style="list-style-type: none"> 一応、相談に乗るとい形になっている。お話を聞いて医療機関へ御自身からかけ合ってもら場合もあるし、こちらから御遺族からこう言われているのでどうですかと投げかける場合もあるので、掲載してもらって構わない。
	中山委員	<ul style="list-style-type: none"> メディカルソーシャルワーカーとしては、患者・家族の間に入って相談支援をするという立場であり、大きい病院では配置されるようになって、少しずつ知名度も上がってきているとは思う。しかし、一般診療所では配置されていないし、どういう所へ行ったら、ソーシャルワーカーへ繋がるのかも知らない方もいると思う。ガイドに盛り込んでいいのか、逆に窓口がいっぱいあり過ぎると、利用者が混乱するかと思っ様子を見ていたのだが。
	事務局 (永井係長)	<ul style="list-style-type: none"> メディカルソーシャルワーカーは、知らない方もたくさんいる。相談窓口に来た相談の中でも、例えば、院内の患者相談窓口とかメディカルソーシャルワーカーさんへ相談されてはどうですかと助言することもある。直接、患者さんと対話をされて相談をお受けする大切な役割を担っていると思うので、私の方からも、患者さんからよく聞かれることとか、基礎知識として知っておいていただきたいこと、入院・転院の手続きとか、色々とメール等を利用して情報を頂きたいと思っている。
	松家会長	<ul style="list-style-type: none"> メディカルソーシャルワーカーが、何をやっているのか知らない方はいると思う。私達も病院の中にいるはずだから、相談して下さいとよく言うが、何をしているのか知って頂くことも必要だと思う。
議事(4) 平成24年度医療安全推進事業について	事務局 (永井係長)	<p>ア 医療安全講習会の実施予定について説明(資料9)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設種別ごとに、全2回実施したい。 <p>イ 院内感染対策セミナーの実施予定について説明(資料10)</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度に引き続き、病院看護師を対象に3回実施したい。 <p>ウ 市民対象の講座の実施予定について説明(資料11)</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度の実施結果から、高齢者層の関心が高いこと、より効率的・効果的な手法を選択して、本年度は主に、出前講座を中心に実施していきたい。 <p>エ 医療安全支援センター事業概要の作成について説明(資料12)</p> <ul style="list-style-type: none"> 例年同様、主に医療提供施設向けに作成・配布する。

	松家会長	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座が増えて、たくさん集まるようになったら、また南須原先生などにもお願いして、お話してもらったら、いかがですか。
	事務局 (永井係長)	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度は、少し時期と広報の仕方が悪かったと思う。健康については、高齢者層を中心に関心を持っている人が多いと思う。また、市医師会で毎月土曜日に実施している家庭医学講座も、200名前後参加者があるということだし、曜日とか、あと一番悪かったのがタイトルだと思う。医療安全にとらわれすぎて、かたい講座名で広報に出してしまって、反省している。本年度は、既に出前講座の申込が多数来ており、それとは別に市民講座を実施するのは難しい状況だが、来年度以降、再検討して市民対象の講座も広く実施していきたいと考えている。
議事(5) 「平成24年度事業計画案」について	事務局 (永井係長)	<p>○平成24年度事業計画案について説明(資料13)</p> <ul style="list-style-type: none"> 11月実施予定の第2回基幹会議までの間に、講習会やセミナーの講師依頼、医療ガイドの作成等についての意見交換等を随時、行っていきたいので、御協力をお願いしたい。

